

ポルトガル月報

2021年7月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★災害事態宣言の延長及び制限措置の緩和／★レベロ・デ・ソウザ大統領東京五輪壮行会に参加

【外交】★レベロ・デ・ソウザ大統領及びコスタ首相、CPLP首脳会合に参加／★井上大臣のポルトガル訪問

【経済】★ポルトガルの第2四半期GDP成長率がEU加盟国内で最高値を記録

内政

★災害事態宣言の延長、国内で感染者数が増加

7月29日、政府は閣議を実施し、現行の災害事態宣言の延長を決定した。他方、現在の各種制限措置に関しては、政府は感染症の流行状況の分析・評価及び専門家の意見を踏まえ、8月1日からの段階的な制限措置の緩和を決定した。制限緩和に関し、コスタ首相は「既にデルタ株が全国に蔓延しており、また、夏季休暇で人々が旅行することを踏まえ、これまで感染程度に応じて市毎に異なっていた措置の適用方法を改め新たな措置を全国一律に適用する。ワクチン接種の進捗度合いを指標に8月1日から段階的緩和を実施する。一方、パンデミックが去ったわけではないため依然として各人の防護措置を継続する必要がある。感染終息に向けたシナリオが変わり必要に迫られた際には、制限緩和措置の停止及び後退も厭わない。緩和措置の停止や後退が必要な事態にならないことを望む。」と引き続き国民への警戒を呼び掛けた。

★レベロ・デ・ソウザ大統領、東京五輪壮行会に参加

7月5日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、ポルトガル・オリンピック選手団の壮行会に出席した。レベロ・デ・ソウザ大統領は「日本のみならず、ポルトガル・世界が予想しなかった状況に直面し、異例の大会となる。選手にとって4年から5年かわからないままの練習は辛かったであろう。大会実現も直前にしかわからず、日々体を鍛えていた後での今回の大会は特別な物であろう。選手

一人一人はポルトガルを代表する大使である。選手たち諸君は、皆がポルトガルのシンボルである。各選手がベストを尽くせるよう応援している。」とオリンピックに参加する選手を激励した。同壮行会には牛尾大使ほか、フェロ・ロドリゲス国会議長及びブランダン・ロドリゲス教育大臣も参加した。

●インテルカンパス社の世論調査結果—7月

7月21日、ジヨルナル・デ・ネゴシオス紙は、インテルカンパス社が実施した世論調査結果を発表した。新型コロナウイルス感染症への対応が続く中、与党・社会党（PS）の支持率は34.8%（前月比0.2ポイント増）に増加し、最大野党・社会民主党（PSD）の支持率は23.4%（同1.0ポイント増）と先月から増加した。PSとPSDの支持率の差は11.4ポイント（前月比0.8ポイント減）に減少した。その他主要政党では、左翼連合（BE）及び自由党（Livre）を除く全ての党の支持率が減少した。同社による最近の政党別支持率は以下のとおり。

【ポルトガル国内政党支持率推移】

政党	2月	3月	4月	5月	6月	7月
PS	37.6	37.6	36.2	37.9	34.6	34.8
PSD	24.7	23.6	23.3	21.7	22.4	23.4
CH	7.3	9.0	9.4	8.3	10.1	9.0
BE	8.2	8.3	9.4	8.3	8.9	9.0

CDU	5.8	5.5	5.2	5.5	6.0	6.7
PAN	3.1	2.5	4.8	4.8	5.2	4.5
IL	5.6	5.3	5.0	4.2	6.4	3.1
CDS	2.7	2.3	3.1	2.9	3.1	2.8
Livre	0.7	0.7	0.4	1.3	0.6	0.6

■調査期間：7月7～16日、対象者：ポルトガル本土居住の18歳以上の有権者607人、調査方式：固定及び携帯電話番号を無作為に抽出、回答率：63.4%、統計上の誤差：4.0%

■PS=社会党、PSD=社会民主党、BE=左翼連合、CH=シェーガ党、CDU=統一民主連合（ポルトガル共産党（PCP）・緑の党（PEV）、PAN=人と動物と自然の党、IL=リベラル主導党、CDS=民衆党、Livre=自由党

外交

●コスタ首相、カナダ首相と会談

7月2日、コスタ首相はカナダのトルドー首相とオンラインで会談を行った。本会談は、カナダ政府による、カナダへのポルトガル移民のこれまでの功績の称賛を目的とした「カナダにおけるポルトガル文化遺産月間」制定を記念したもので、会談では二国間関係について話し合われた。コスタ首相は「カナダのポルトガル移民はカナダに統合され、政治、経済、社会、文化各方面において重要な役割を果たしている。民間レベルだけでなく、政治レベルでもポルトガルとカナダはNATOでの同盟国であり、EU・カナダ貿易投資協定に基づく経済的パートナーでもある。」と良好な二国間関係を強調した。

★サントス・シルヴァ外相、ブラジル外相と会談

7月2日、サントス・シルヴァ外務大臣は、リスボンでブラジルのフランサ外務大臣と会談を実施した。会談では二国間関係及び経済関係について議論が交わされ、サントス・シルヴァ大臣は「フランサ大臣の就任直後のポルトガル訪問を嬉しく思う。ブラジル独立から200年にあたる2022年は、政治・外交的にも経済・文化的にも二国間関係を深める上で非常に重要な年となる。」と二国間関係発展への期待を述べた。フランサ大

臣は「ブラジルには既に600社のポルトガル系企業があり、数年以内の成長の可能性を秘めている。今般訪問はブラジル・ポルトガル関係の緊密さを示しており、両国間における領事及び科学技術少委員会の活性化にも取り組みたい。」と具体的なテーマに言及した。

●モザンビーク政府と若者雇用創出支援協定を締結

7月6日、カモニス言語協力院はモザンビーク北部のテロにより被害を受けた若者の雇用を生み出すことを目的として、モザンビーク政府と若者雇用創出支援協定を締結した。同協定の締結にあたり、フランシスコ・アンドレ外務国際協力担当副大臣は「失業は重要な問題であり、本協定に基づいて計画されるプロジェクトは更なる雇用機会を創出し、若者の能力を強化し、十分な報酬を得るためのものである。」と協定の意義を述べた。

●サントス・シルヴァ外相、東ティモール外相と会談

7月8日、サントス・シルヴァ外相は、リスボンで東ティモールのマグノ外務協力大臣と会談を行った。会談では感染症対策及び二国間関係について話し合われ、サントス・シルヴァ大臣は「マグノ外務協力大臣就任後初の外遊としてのポルトガル訪問に感謝する。ポルトガルと東ティモールの関係は緊密で非常に良好である。マグノ大臣には、パンデミック初期のポルトガル人帰還オペレーション及び東ティモールへの再入国オペレーションへの協力を感謝したい。」とコロナ禍での緊密な関係を強調した。

●レベロ・デ・ソウザ大統領及びコスタ首相、CPLP首脳会合に参加

7月17日、レベロ・デ・ソウザ大統領、コスタ首相、サントス・シルヴァ外務大臣は、アンゴラの首都ルアンダで行われたポルトガル語公用語圏諸国共同体（CPLP）首脳会合に参加した。同会合では感染症対策やCPLP加盟国間経済協力に関して議論が交わされ、CPLP加盟国市民の移動に関するモビリティ協定が締結された。会合後の会見でコスタ首相は「モビリティ協定は、CPLPの枠組み内に真の市民権を作り出し、全加盟国

間での流動性、学術的研修・修養の承認、社会保障権の付帯を促進する。現在我々は経済復興を成し遂げなければならないが、CPLP加盟各国はCPLP内での経済・企業間協力を経済成長のための機会として認識している。CPLPは政治的協議だけでなく、加盟国の大きな成功のために重要な場である。」と今後の更なる加盟国間での協力に対する期待を述べた。尚、レベロ・デ・ソウザ大統領は同会合開催への参加に加え、アンゴラのロウレンソ大統領、サントメ・プリンシペのカルバーリョ大統領、ブラジルのモウラン副大統領と会談を行った。

★井上万博大臣のポルトガル訪問

7月21日、井上信治国際博覧会担当及び内閣府特命担当大臣がポルトガルを訪問し、サントス・シルヴァ外務大臣と会談を行った。会談では2025年大阪万博に関して話し合われ、サントス・シルヴァ大臣は25年大阪万博へのポルトガルの参加を正式に表明した。会談後、井上大臣は1998年リスボン万博跡地を視察し、フェイスブック上で「直接交渉したことで大きな成果を挙げられて、本当に良かったです。1998年リスボン万博跡地を視察し、とても参考になりました。」と述べた。

●第一回ポルトガル・中国外相戦略対話の実施

7月22日、サントス・シルヴァ外相は、中国の王毅外交部長とオンラインで「第一回ポルトガル・中国外相戦略対話」を実施した。同対話では二国間関係及び二国間協力について話し合われ、中国側は、王毅部長が「中国ポルトガル関係発展の推進、世界の平和・安定の擁護、人類運命共同体の共同建設のために中国とポルトガルとしての貢献を果たしたいと考えている。」と協力の重要性を訴える長文のプレスリリースを発出したのに対し、サントス・シルヴァ大臣は「ポルトガルと中国の友好の歴史は長い。ポルトガルはEUと中国が共通認識を拡大させ、協力を強化することを支持する。ポルトガルと中国はいずれも多国間主義の確固たる支持者であり、国連を核心とする国際体制の擁護を主張している。ポルトガルは、中国側と国際実務において、協調・協力を一層強化したいと考えている。」との旨ツイッターで簡潔

に発表した。

●クラヴィーニョ国防相、北マケドニア国防相と会談

7月23日、クラヴィーニョ国防大臣は、リスボンで北マケドニアのジャンコブスカ国防大臣と会談を行った。会談では防衛産業を含む防衛協力の可能性、両国及び周辺地域の情勢、国防戦略、EUの第三国での軍事訓練ミッションに関して意見が交わされた。

●サントス・シルヴァ外相、ハンガリー外相と会談

7月27日、サントス・シルヴァ外務大臣は、リスボンでハンガリーのペーテル外務貿易大臣と会談を行った。会談では二国間関係及び感染症対策について議論が交わされた。また、ハンガリーからのワクチン購入契約も行われ、初回納入分のアストラゼネカ製ワクチンがポルトガルに到着した。サントス・シルヴァ大臣は「ハンガリーとの合意は欧州の協力の精神を示している。これは、メーカーからの購入の他にEU加盟国からの購入が可能であることを示している。」とワクチン調達方法の新たな可能性を提示した。ペーテル大臣は「ハンガリーは、多くのEU諸国とは異なり、ロシアや中国からの迅速なワクチン取得を目指す戦略を打ち立てた。そのため、ハンガリーは現在、保健・衛生に関し最も安全な国の一つであり、他国にワクチンを提供できるだけの余裕がある。」と述べた。尚、ポルトガルがハンガリーから購入したワクチンは、CPLPアフリカ諸国及び東ティモールへ供与される。

●ポルトガル・米国二国間協議を実施

7月28日、米国のワシントンで、第45回ポルトガル・米国二国間常設協議が実施された。フィッシャー・ポルトガル外務省外交政策局長及びモリー・モンゴメリ国務次官補代理（欧州及びユーラシア問題担当）が共同で議長を務めた。協議では良好な二国間関係及び感染症対策を含む世界規模の課題に関する対話の維持が確認され、特に、パンデミック、気候変動、経済危機からの復興に関する大西洋間での協力に関する議論が交わされ、両国は国際保健環境の強化、感染症対策、保健危機

及び将来の新たな感染症に対する対応への強化に向け合意した。

●CPLP諸国へワクチン供与を実施

7月、ポルトガル政府は、新型コロナウイルス感染症衛生対応行動計画に基づき、CPLP諸国にワクチン及び注射器の供与を実施した。4日にモザンビーク、9日にサントメ・プリンシペ、13日にギニア・ビサウ、14日にアンゴラ、16日にカーボベルデ、19日に東ティモールへそれぞれ供与が行われた。ポルトガル政府は、CPLPアフリカ諸国及び東ティモールに対し、これまでポルトガルが購入したワクチンの内約5%となる100万回分の供与を保証していたが、直近の集計に基づき、300万回分までの供与を行う旨発表した。

経済

●5月の貿易統計を発表

7月9日、国立統計院（INE）は5月の貿易取引量の変化に関する数値を発表した。5月は、前年同月と比較し、輸出が54.8%、輸入が52.6%それぞれ増加したが、2019年度数値と比較し輸出及び輸入はそれぞれ-5.2%及び-7.5%となった。石油及び化学製品を除いた数値では前年同月と比較し、輸出が48.9%、輸入が42.3%増加し、2019年度数値との比較でも輸出が3.1%、輸入が6.2%増加した。貿易赤字は13億6,900ユーロを記録し、前年同月比4億2,200万ユーロ増となったものの、2019年度との比較では2億5,200万ユーロの減少となった。

★6月の消費者物価指数の発表

7月12日、国立統計院（INE）は6月の消費者物価指数（CPI）を発表した。6月のCPIは5月から0.7%減の0.5%となった。インフレの指標となる食料品及びエネルギーを除いたコアコアCPIは5月から1.1%減の-0.6%に減少した。

●長期国債の入札

7月14日、ポルトガル国庫公債管理庁（IGCP）

は、10年物長期国債を6億2,200万ユーロ（平均利回りは0.127%）及び17年物長期国債を2億9,200万ユーロ（平均利回り0.609%）発行した。落札額は10年物長期国債が14億2,400万ユーロ（応札倍率2.29倍）、17年物長期国債が7億2,600万ユーロ（応札倍率2.49倍）となった。

●短期国債の入札

7月21日、ポルトガル国庫公債管理庁（IGCP）は、1年物短期国債を10億ユーロ（平均利回り-0.594%）発行した。落札額は、21億7,900万ユーロ（応札倍率2.17倍）となった。

★ポルトガル、EU内最高の第2四半期GDP成長率を記録

7月30日、欧州委員会及び欧州統計局はEU及びユーロ圏、EU加盟各国の2021年第2四半期のGDP成長率速報値を発表した。ポルトガルは、第1四半期では感染症拡大に伴う経済活動の制限によりマイナス成長を記録したものの、第2四半期では前期比4.9%の成長率を記録し、EU全加盟国中最も高い成長率を記録した。EU全体では1.9%、ユーロ圏では2.0%の成長率を記録し、2020年の第2四半期との比較では、全加盟国がプラス成長を記録した。

【GDP成長率推移】

	20年1Q	20年2Q	20年3Q	20年4Q	21年1Q	21年2Q
EU	▲3.3	▲11.4	11.6	▲0.4	▲0.1	1.9
ユーロ圏	▲3.7	▲11.7	12.4	▲0.6	▲0.3	2.0
ポルトガル	▲4.0	▲13.9	13.4	0.2	▲3.2	4.9

●6月の雇用統計の発表

7月30日、国立統計院（INE）は6月の雇用統計を発表した。失業者数は約35万6,100人を記録し、前月と比較し約5,500人（1.5%）の減少となった。また、前年同月との比較でも、約1万6,300人（4.4%）減少した。失業率は6.9%（前月比0.1%減）を記録し、前年同月と比較し0.6%減少した。（了）